

Eagle Catch

イーグルキャッチ

株式会社エムログ

<http://www.m-log.com/>

部品別の故障発生率などを分析

「イーグルキャッチ」の最大の特徴は通信モジュールを搭載し携帯電話やパソコンと通信できる点である。同機の16ピンコネクタを車両側のコネクタに装着し、車両のイグニッションをオン、「イーグルキャッチ」の電源をオンにし、自動車メーカーをダイヤルで選択、「SCAN」ボタンを押すと診断が開始される。診断結果のメールが携帯電話に届くまでの時間は約30秒。「エンジン」「ミッション」「ABS」「エアバッグ」の各ユニットをチェックする。データはサーバーに蓄積されるため、診断情報が集積されるのが同機の特徴。このため、O₂センサの故障発生率など、車種別部品別のランキング機能なども利用することができる。

診断料がしっかりとれる

同機はロータスクラブの同友に利用者が多いほか、近年は中古車店での採用も増加している。エムログによると年間車検台数の70%程度の割合で診断料金を頂いているとの事例があり、有料診断のツールとして実績を作っている。

「イーグルキャッチ」はレンタルのみの取扱いとなっている。初期加入料が62,790円がかかる他は月額1万6,590円となっている。



プリウス 20 系のエア抜きはオプションで

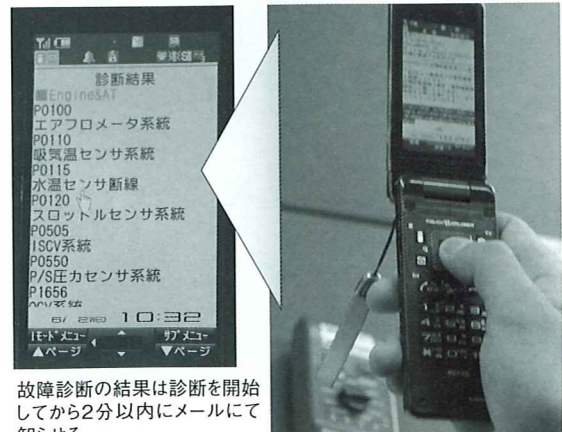


「Eagle Catch」

オプションとなっている「プリウス 20 系エア抜き機能」はSDカードにて提供される。「イーグルキャッチ」の本体にSDカードを挿入して使用する。料金は1万4,700円。



サンコーのブースで展示が行われた。



故障診断の結果は診断を開始してから2分以内にメールにて知らせる。